

今ならまだ間に合う! **中小製造業**の

「デジタルものづくり革新」

3D-CADなどによる製造プロセスのデジタル化は、生産性の向上などのメリットをもたらすだけでなく、人手不足の解決やビジネスチャンスの拡大、サプライチェーンの構造変革への対応など、企業として生き残っていくために必須の取り組みです。

しかし、中小企業においては、費用対効果が見えにくいことや導入できる人材の不足などが要因となって、デジタル化が停滞している状況です。

今回は、ものづくり現場におけるデジタル化の必要性や具体的なメリットと、効果的にデジタルデータを活用する方法を、成功・失敗事例を交えてご紹介します。

日時

平成31年 **2月28日(木)**
14:00~17:00 (開場 13:30~)

会場

グランドホテル浜松 2階「レアンジェ」

定員

50名

対象

製造プロセスのデジタル化に
取り組みたい方、興味のある方

参加費無料

※県西部地域以外の企業は
1,000円(税込)

スケジュール

講演①

14:00~15:30 **「IoT時代の“ものづくり”再考」**

講師：関ものづくり研究所 代表 関伸一 氏

概要：・デジタルエンジニアリングの必要性と重要性

- ・IoT、AIの目的と中小製造業の活用事例
- ・これからの“ものづくり”

講演②

15:40~16:40 **「付加価値を創出するデジタルデータ徹底活用術」**

講師：株式会社プロノハーツ 代表取締役 藤森匡康 氏

概要：・3D-CADの導入意義

- ・3D-CAD導入の成功事例、失敗事例
- ・3Dデータの活用方法

16:40~17:00 **講師との名利交換**

主催



公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation

共催

浜松市・磐田市・掛川市・袋井市
湖西市・御前崎市・菊川市・森町



関ものづくり研究所 代表 関伸一 氏

専門である機械工学及び統計学を基盤として、品質向上を切り口に現場の改善を中心とした業務に携わる。ローランドDG社で改善業務の集大成として考案した「デジタル屋台生産システム」はあまりにも有名。現在、モットーである「明るく楽しい現場からしか良い製品・サービスは生まれない」を実現する現場作りのために、本来のコンサルティングのほか、志を同じくする経営者と共に㈱Fiotを設立し、Made in Japanのお手軽IoTデバイスの開発・製造・販売も手掛ける。

静岡大学工学部 客員教授、NPO法人三次元設計能力検定協会事務局長。

【著作】日経BP社「日経ものづくり」誌「ものづくり塾製造コース」連載など。ムックハウス社「ニューモデルマガジンX」誌「ものづくり直言」連載中。



株式会社プロノハーツ 代表取締役 藤森匡康 氏

メーカー、コンサルティング会社勤務などを経て、2007年10月に株式会社プロノハーツを設立、代表取締役に就任。プロフェッショナルの心と志を持ち、3次元デジタルデータの有効活用を主な業務とし、製造業を中心にコンサルティングを行っている。また、3Dデータを用いた製造業向けデザインレビューシステム“pronoDR”の商品化や工場スキャンングサービスのほか、幅広いネットワークを活用して製品の企画・設計から商品化までのプロデュースにも力を入れている。

TOC・CCPMスペシャリスト、ITコーディネーター（経済産業省推奨資格）、PMP（米国PMI協会）PMI東京 会員

参加申込書 | 今ならまだ間に合う！中小製造業の「デジタルものづくり革新」

【申込方法】 下記申込書にご記入の上、2月21日（木）までに、E-mail または FAX でお申込み下さい。尚、参加費が発生する方については申込受付後、当財団より参加費の請求をさせていただきますので、2月26日（火）までに指定口座へお振込みをお願いします。

【問合せ先】 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業推進部 技術支援グループ/菊本・清水
TEL 053-489-8111 FAX 053-450-2100 E-mail gijyutsu@hai.or.jp

会社	会社名			
	所在地	〒 ー 県西部地域に本社、製造拠点の主たる事業所がある。 ある ☐ /ない ☐ ※必ずチェックしてください。		
	TEL		FAX	
参加者①	氏名		所属/役職	
	E-mail			
参加者②	氏名		所属/役職	
	E-mail			